

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



5年生と6年生が LET'S ENJOY ENGLISH!

12月3日(火)の5限目に、セントヨゼフ女子学園の生徒が来校し、5年生・6年生と英語活動の交流を行いました。これは、津市の「LET'S ENJOY ENGLISH」の取組としての活動です。当日は、5年生と6年生のそれぞれの教室で、双六形式の英会話ゲームをグループ別に楽しんだり、筆記体を教えていただきながら自分の名前を書いたりして、英語に親しみました。少し年上のお姉さんですが、英語の発音は“さすか”です。楽しい時間をありがとうございました。



5年生が 自動車工場をリモート見学したよ!

12月3日(火)の6限目、トヨタ自動車九州株式会社宮田工場と5年生がリモート学習をしました。自動車工場の見学ができなくなったコロナ禍の時に始まった自動車工場のリモート見学でしたが、移動する時間の短縮というメリットもあり、現在も受け付けている工場があります。自動車の組立の場面を拡大して映していただいたり、その場面の映像を映しながら説明や質問の受け答えをしていただいたりしました。直接工場の見学をするよりも、間近で見学させていただいているように思えます。資料を事前に送っていただき、事前学習も可能でした。子どもたちは、自動車の組立の工夫や、働いている人の思いなど、しっかりと理解することができたようです。最後に、レクサスのペーパークラフトをいただきました。切り取る前にスマホなどからアプリをダウンロードすると、ラジコンのように動かせるようです。実際に家で組み立てた子に聞くと、「動いたよ」と嬉しそうに言っていました。科学も進歩したものですね。



5年生が食育の学習をしました！

12月4日（水）に、白塚小学校の栄養教諭の先生に来ていただき、「給食から自分たちの身のまわりの食について、できることを考えよう」についての学習をしました。導入では、「ある日の給食の食材の中で、輸入品を予想して〇で囲もう」の問題に取り組みました。この問題を解いていく過程で、輸入品、国産品、三重県産品を分類していきました。分類してみると、砂糖や油などは輸入品でしたが、食材の多くを占める野菜類はほぼすべて国産品でした。津市の給食の食材については、①安全安心の国産 ②できれば三重県産 ③牛乳は三重県産 ④小麦の一部は三重県産 ⑤コメは津市産 を徹底しているそうです。

次に、食料自給率について学習しました。アメリカやフランス、スペインなどの国は、食料自給率が100%を超えています。オーストラリアは、200%もあります。それに対して、日本の食料自給率は、38%とかなり低いです。日本という国が、食料をいかに外国に依存しているかが分かります。外国との関係が悪くなり、貿易がうまくいかなくなると大変なことになるということが分かりました。



最後に、津市の給食の取組が、日本の食料自給率を高めることに貢献していることを学習しました。ここでは、①三重県産の大豆・豆腐・みそ ②和食・コメ・野菜 ③米粉入りパン ④地産地消 の4つのテーマの中から1つを選び、グラフなどの資料を参考に、キーワードの言葉を使いながら、津市の給食の取組が日本の食料自給率を高めることにどのように関わっているのかを、理由を交えて文章で説明をしようという課題（※1）に取り組みました。津市の給食の取組が、日本中に広がっていくことで、少しでも日本の食料自給率が高まっていくといいですね。

※1 5年生の子どもたちは、津市が進めている授業づくりである「複線型の授業」を、4月当初から取り組んでいます。自分の好きなテーマを選び、ある子はひとりで、ある子はペアやグループで相談しながら、ある子は先生の支援を受けながら、自分で選んだ方法で、課題に取り組むという授業形態です。難しい言葉で「個別最適な学び」と言われています。今回の課題についても、複線型で課題に取り組んでいました。先生の指示に従い、一斉授業で育ってきた方々にとっては、なぜ授業中に勝手に立ち歩くのか、なぜあちこちで複数人が話をしているのか、なぜ先生は注意をしないのかと、疑問に思われると思いますが、これからの日本の授業は、このような複線型の授業を取り入れた授業へと、変換していきます。5年生の授業を視察のために来校した津市教育委員会の先生方からも、子どもたちが生き生きと取り組んでいると、お褒めの言葉をいただいています。

